

保育園自己評価票

A-1 保育園保育の基本

A-1(1) 養護と教育の一体的展開

A-1(1)-① 保育園の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即してよく編成されている。 | a |
| B | 保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即してよく編成されているが、改善が必要である。 | |
| C | 保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即して編成されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達記録表の記入 ・ 個別対応 ・ | | |

A-1(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

| 判断基準 | | (A・B・C) 評価 |
|--|--|---------------|
| A | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。 | b |
| B | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。 | |
| C | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 玩具等の整理 ・ コンセントカバーの取り付けが必要。 ・ 目の届かない箇所がある。 ・ 授乳の時間が個々に合わせられない時がある。 | | |

A-1(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。 | b |
| B | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。 | |
| C | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・担任同士クラスの話し合いはしているが、自信をもって出来るとはいえない。 ・探索活動が十分ではない。 ・分園は、異年齢との交流が少ない。 | | |

A-1(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。 | a |
| B | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。 | |
| C | 適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児は複数担任なので、話し合いは出来ている。 ・基本的な生活習慣が身に付く様な保育をしている。 ・担任以外がクラスに入る時の引き継ぎがしっかりしている。 | | |

A-1(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されている。 | b |
| B | 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されているが、改善が必要である。 | |
| C | 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・交流会・インターシップ等の受け入れは行っているが、連携が十分とは言えない。 ・ ・ | | |

A-1-(2) 環境を通して行う保育

A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境を整備している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されている。 | b |
| B | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。 | |
| C | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・共有スペースに乳児がいる時、隣の2歳児のクラスとの間で、お互い騒がしさが気になる時がある。 ・定期的に掃除をしているが、汚れが気になる時がある。 ・保育上で言葉使いや対応の改善はもっと出来るはず。 | | |

A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されている。 | b |
| B | 基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されているが、改善が必要である。 | |
| C | 基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・トイレを急かしたり、強制している時もある。 ・遊びが場所により制限される。 ・不必要な急かしを無くしていく。 | | |

A-1-(2)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されている。 | b |
| B | 子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。 | |
| C | 子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分で玩具を選んで遊ぶ機会が少ない。(分園) ・月齢に合った玩具が少ない。(分園) ・4, 5歳児は自分達で遊びを考え行動する時間もある。 | | |

A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境が十分整備されている。 | b |
| B | 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境がどちらかといえば整備されている。 | |
| C | 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境が十分整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・散歩等で近所の方とコミュニケーションをとっている。 ・公共交通機関の利用が無い、年長の園外保育に取り入れると良い。 ・散歩等で落ち葉を拾うが制作に活かされていない。 | | |

A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されている。 | a |
| B | 豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。 | |
| C | 豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを行い、絵本の部屋を自由に利用できる。 ・絵本の貸し出しを行っている。 ・お遊戯室遊びを毎日取り入れている。 ・一人一人丁寧に受け答えを行っている。 | | |

A-1-(3) 職員の資質の向上

A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|-------------------------------------|---------------|
| A | 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が十分図られている。 | b |
| B | 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が十分図られていない。 | |
| C | 保育士等が主体的に自己評価に取り組んでいない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を行っているが、実際に保育に活かされているかどうか疑問。 ・分からない事は職員間で話し合いが出来ている。 ・ | | |

A - 2 子どもの生活と発達

A-2-(1) 生活と発達の連続性

A-2-(1)-① 子どもの一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が適切に行われている。 | b |
| B | 子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が適切に行われているが改善が必要である。 | |
| C | 子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が行われていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・登園時の受け入れを個々に対応しているが、もっと良く出来るのではないかな。 ・自分に余裕が無く、しっかり受け止められない時がある。 ・制止する言葉を使う時がある。駄々をこねる子に対し気持ちを十分受け止められない時があった。 | | |

A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に十分な配慮がみられる。 | |
| B | 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に十分な配慮がみられるが改善が必要である。 | |
| C | 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境や保育内容について、配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・障害児の研修を受け理解してはいるが、障害児保育を行っていない為、受け入れ体制が整っていない。 ・ ・ | | |

A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されている。 | b |
| B | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されているが改善が必要である。 | |
| C | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的雰囲気があるか（ゴロゴロしたい時に出来る環境がない） ・4・5歳児の絨毯スペースをゆったりスペースに使ってない。 ・静、動の活動を交互に取り入れ、手作り玩具等飽きない工夫がされている。 ・異年齢保育の時間もある。 | | |

A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 子どもの健康管理は、マニュアルや保健計画などで全職員が共通理解し、子ども一人ひとりの健康状態に応じて適切に実施している。 | b |
| B | 子ども一人ひとりの健康状態に応じて健康管理を実施しているが、マニュアルや保健計画などはなく改善が必要である。 | |
| C | 子ども一人ひとりの健康状態に応じて健康管理を実施していない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理はしているが、保健計画がない。 ・怪我の時、保護者への連絡、必要に応じ医療機関の受診対応などマニュアルがあり、会議等での報告など再発防止に努めている。 | | |

A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしている。 | b |
| B | 食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしているが、改善が必要である | |
| C | 食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・会食、行事食、クッキング等楽しめるよう工夫されている。 ・食材の名前や味を伝えたり、楽しい雰囲気をつくる事が出来た。 ・外での給食を楽しむ事が出来なかった。 | | |

A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されている。 | b |
| B | 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されているが、改善が必要である。 | |
| C | 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 月齢又は個々に合わせた食事を提供している。 ・ 9～10ヶ月の乳児のおやつが手作りのものがあると良い。 ・ | | |

A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させている。 | a |
| B | 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させているが、改善が必要である。 | |
| C | 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診結果の保護者、職員への伝達は出来ていて、対応等保育に反映している。 ・ ・ | | |

A-2-(3) 健康及び安全の実施体制

A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応している。 | a |
| B | アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応しているが、改善が必要である。 | |
| C | アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応していない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別化を図るため、個人の名入りのお盆を使用。 ・ 職員間で必ず声を掛け合っている。 ・ | | |

A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。 | a |
| B | 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されず改善が必要である。 | |
| C | 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがなく、適切に実施されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の衛生チェックを徹底している。 ・ 日々調理の際の温度、湿度に気をつけている。 ・ 調理終了後の調理室内の衛生に気を付け、翌日に汚れを残さない。 | | |

A-3 保護者に対する支援

A-3-(1) 家庭との緊密な連携

A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 食を通して、保護者が食育に関心が持てるような十分な取組をしている。 | b |
| B | 食を通して、保護者が食育に関心が持てるような具体的な取組をしているが、改善が必要である。 | |
| C | 食を通して、保護者が食育に関心が持てるような具体的な取組をしていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・月齢に合わせ、栄養士から話しをしている。 ・その日の給食の展示、又は写真を掲示したり、個人の食の進み具合を伝えている。 ・食育ポスターを作成したが、子ども達の気を引く活動が出来ていない。 | | |

A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行なっている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。 | a |
| B | 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換や、個別懇談は行っているが、改善が必要である。 | |
| C | 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換や、個別懇談は行っていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に直接伝えたり、ノート、面談等を行っている。 ・ ・ | | |

A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を十分設けている。 | b |
| B | 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るためには改善が必要である。 | |
| C | 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談週間で話す機会を作っている。 ・ 書類にして職員間で把握している。 ・ 保護者の保育参加が少ない。 | | |

A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に積極的に努めている。 | b |
| B | 虐待に対応できる保育所内の体制の下、虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めているが、取組の改善が必要である。 | |
| C | 不適切な養育や虐待を疑われる子どもの早期発見や虐待の予防に努めていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の様子を見たり、疑いがあった時は速やかに報告している。 ・ 児童虐待及び防止に関し、掲示はしているが保護者に浸透しているか。 ・ | | |

A-4 苦情解決体制

A-4-(1)-① 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っている。また、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。 | a |
| B | 苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っている。また、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いているが改善が必要である | |
| C | 苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っていないし、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会等で説明を行っている。 ・ ・ | | |

A-4-(1)-② 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 第三者委員を交えて対応する仕組みが出来ていて、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されている。また、データを蓄積し、整理し、解決に生かしている。 | a |
| B | 第三者委員を交えて対応する仕組みが出来ていて、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されているが取組に改善が必要である。 | |
| C | 第三者委員を交えて対応する仕組みがなく、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ その都度速やかに対応出来ている。 ・ ・ | | |

A-5 安全管理

A-5-(1)-① 安全管理に対するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 安全管理に対するマニュアルが整備されていて、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。 | b |
| B | 安全管理に対するマニュアルが整備されていて、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されているが、取組が十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 安全管理に対するマニュアルが整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはあるが、それに対して、しっかり対応できるかが不安。 ・実際に訓練を行った方が良い（分園から本園への移動など） ・ | | |

A-5-(1)-② 事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 保護者や救急機関への連絡体制が確立していて、軽傷であっても必ず保護者へ状況を報告し記録している。また、職員会議等で事故の報告、再発防止などの改善策を話し合っている。 | a |
| B | 保護者や救急機関への連絡体制が確立していて、軽傷であっても必ず保護者へ状況を報告し記録しているが、取組が十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 保護者や救急機関への連絡体制が確立されていないし、事故報告・再発防止の取組みがない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと出来ている。 ・ ・ | | |

A-6 地域支援機能

A-6 地域のニーズに応じた子育てサービスの提供

A-6-(1)-① 地域の子育て支援ニーズを把握するための取組を行う。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じている。 | b |
| B | 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じているが、取組が不十分で改善が必要である。 | |
| C | 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園開放等に取り組んでいるが、具体性に乏しい。 ・町内行事のスノーフェスティバルの園定開放時、園行事の際に地域の方々に聞いているが、他の方法があるか検討が必要。 | | |

A-6-(1)-② 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われている。 | b |
| B | 地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われているが十分ではなく改善が必要である。 | |
| C | 地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供していない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園開放等の受け入れは出来ているが、実際の応募が無い状態。 ・ ・ | | |

A-7 ボランティア・実習の受入

A-7-(1)-① ボランティアの受入や育成を積極的に行っている。

| 判断基準 | | (A・B・C) |
|--|--|---------|
| A | 受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されている。また、ボランティアの感想意見を園運営に反映されている。 | b |
| B | 受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されているが、十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れはしているが、記録されていない。(花屋さんによる、園児の花植え指導・町内のスノーフェスティバルへの参加) ・ | | |

A-7-(1)-② 実習生の受け入れを適切に行っている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 受入のための担当者が決められており、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫している。 | a |
| B | 受入のための担当者が決められており、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫しているが十分でなく、改善が必要である。 | |
| C | 受入のための担当者が決められておらず、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫がなされていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・例年保育・看護・高校・中学からの要請により、受け入れを行っている。 ・受け入れの態勢、対応も出来ている。 ・ | | |

A-8 職員の人材育成

A-8-(1)-① 保育園職員としての人材育成のため取組を行っている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされている。 | b |
| B | 保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされているが十分でなく、改善が必要である。 | |
| C | 保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 資質向上面で、園内研修や先輩からのアドバイスが少ない。 ・ 保育士不足で研修参加が出来ない時もあるが、参加した時は、会議等で報告し、周知出来ている。 ・ | | |

A-8-(1)-② 職員のスキルの段階に合わせて計画的に資質の向上に取り組んでいる。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みを持ち、会議・勉強会を通じ工夫、改善に取り組んでいる。 | b |
| B | 職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みを持ち、会議・勉強会を通じ工夫、改善に取り組んでいるが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みがない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の自己評価は行ったが、保育園の自己評価は初めて行った。 ・ ・ | | |

A-8-(1)-③ 保育士等の自己評価を踏まえ、保育園の自己評価を行っている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|--|---------------|
| A | 保育士等の自己評価を行い、その結果から保育園の自己評価を行っており、公表している。 | b |
| B | 保育士等の自己評価を行い、その結果から保育園の自己評価を行っているが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 保育士等の自己評価及び保育園の自己評価を行っていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価はしているが、改善にしっかり繋がっているかが不十分。 ・ ・ | | |

A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割

A-9-(1)-① 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っている。また、職員が理解できているか、園長・主任が確認（採用時・採用後年1回） | b |
| B | 理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っているが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 理念・基本方針を職員に説明・理解させていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示や配布等を行ってはいるが、確認する機会が少ない。 ・ ・ | | |

A-9-(1)-② 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|--|---|---------------|
| A | 重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を十分に説明している。 | b |
| B | 重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明しているが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明していない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 決定事項等の説明文を保護者に配布、掲示し、理解をお願いすると共に、職員には会議等で説明をしているが、期限が近づいたら再度確認も必要。 ・ ・ | | |

A-9-(1)-③ 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしている。

| 判断基準 | | (A・B・C) |
|--|---|---------|
| A | 主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っている。 | b |
| B | 主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っているが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 主任が個々の職員の業務状況を把握しておらず、助言や指導を行っていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々に助言や指導を行っているが、受ける側の経験、能力等難しい場合も時々ある。 ・ ・ | | |

A-10 効率的な運営

A-10-(1)-① 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っている。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|--|---------------|
| A | 事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいる。 | b |
| B | 事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいるが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 事業運営に影響のある情報の収集・分析をしていない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 法人、複数施設の為、周知、決定、変更等、時には時間がかかり、調整等大変な時もある。 ・ ・ | | |

A-10-(1)-② 保育園運営に関して、中長期的な目標を設定している。

| 判断基準 | | 評価 (A・B・C) |
|---|---|---------------|
| A | 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討している。 | c |
| B | 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討しているが十分でなく改善が必要である。 | |
| C | 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成していない。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度から計画を作成。 ・ ・ | | |

| | アピールポイント | 課題 |
|-----------------------|--|---|
| A-1 保育所保育の基本 | <ul style="list-style-type: none"> ・プール、園庭などが整備されている。 ・制作、行事が豊富で様々な素材を取り入れている。 ・体操、英語教室がある。 ・本園、分園があり、分園では乳児がゆったり過ごしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・分園は、異年齢児との関わりがあると良い。 |
| A-2 子どもの生活と発達 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身に付くような計画がされている。 ・気になる子に対して密に職員間で話し合いをしている。 ・身体を動かす機会を多く取り入れ、心身の発達をサポートしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事が近づくと時間に追われ、急かすことが増えてしまう。 ・制止するような言葉を使わず、受け止めていく。 ・障害への知識を高める。 |
| A-3 保護者に対する支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・登降園児の対応がしっかりなされている。 ・絵本の貸し出し、アルバム作成、写真販売 ・クラスのホワイトボードで1日の様子を伝えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が保育を見る機会が少ない。 |
| A-4 苦情解決体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て経験のある保育士がアドバイスする ・懇談でより詳しく話しをしたり、今後についての提案をしている。 ・父母会設置の意見箱がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情を気軽に伝えられる環境が出来ているかが気になる。 |
| A-5 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・園内外の点検を定期的に行い、危険箇所は直ぐ補修している。 ・園庭の小石等はこまめに拾っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時にしっかり行動出来る様に、避難訓練を重ねる。 ・安全チェックを全職員で行う。 |
| A-6 地域支援機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流・町内のスノーフェスティバルを園庭の雪山で雪像を作り、一緒に楽しんでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流はあるが、子ども達が直接近所の方々との関わりが少ない。 ・老人ホームへの訪問などがあると良い |
| A-7 ボランティア・実習の受入 | <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の職場体験を受け入れている。 ・実習生を多く受け入れ、指導を行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れをどのようにして行くか。 |
| A-8 職員の人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修に多く参加し、報告会をしっかり行っている。 ・系列園間で公開保育実施し、話し合いを重ね、工夫改善に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の退職が多く、なかなか育てられない。 |
| A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・主任がその都度気に掛け、アドバイスを行ったり、コミュニケーションを多くとっている。 ・細かく報告がされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ |
| A-10 効率的な運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹園間でこまめな話し合いが出来、運営に活かされている。 | |

施設のアピールポイント及び課題